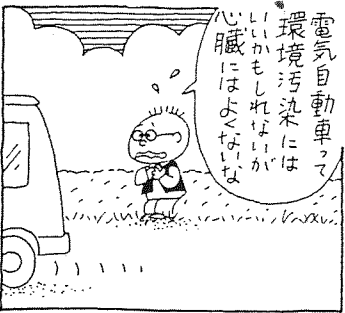
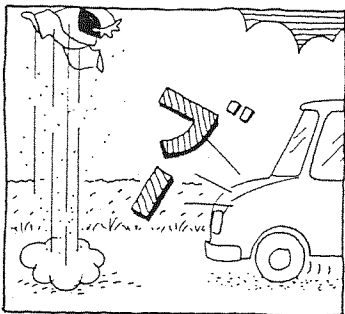
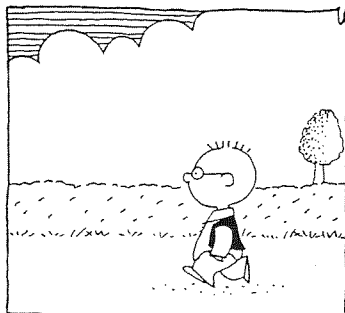
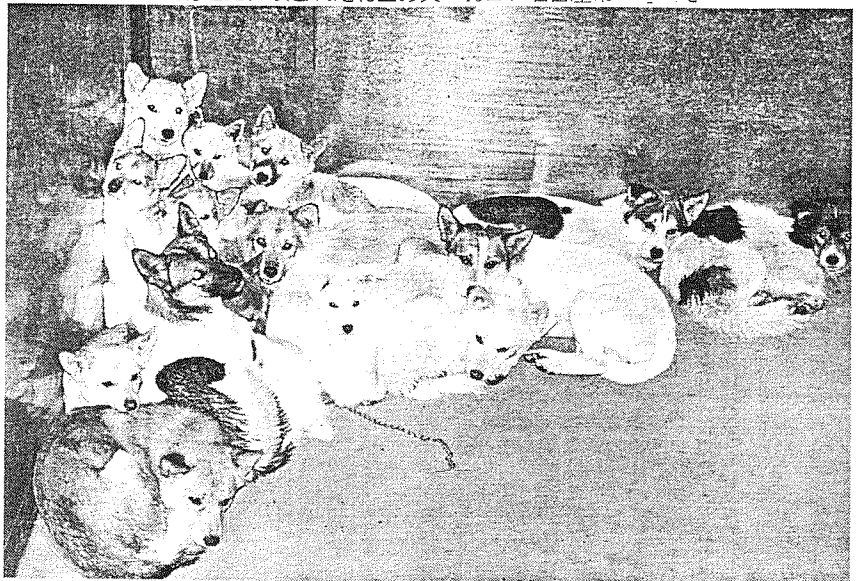


ぼのぼの君

田公彦



瑞穂署に押収された18匹の犬=16日、名古屋市中区で



予防注射も受けず放し飼い

大量に犬を飼いながら狂犬病の予防注射を受けさせず、放し飼いにしていたとして、名古屋・瑞穂署は十七日までに、名古屋市内のパート店員ら宅を狂犬病予防法、同市飼犬規制条例違反の疑いで家宅捜索、飼犬十八匹を押収した。警察が証拠品として多数の犬を押収するのは、全国でも珍しく、近く同店員を書類送検する方針。

調べでは、同店員は約四十匹もの犬を飼っていたが、同法で定められた犬の登録申請と毎年一回の予防注射(生後九十一日以下)を無視し続けたため、同

近所迷惑、ペットも襲撃

犬18匹警察が押収

名古屋の店員
近く書類送検

保健所が十月二十日付で同署に告発していた。

同保健所は昨年十一月、周辺住民が野犬捕獲器の設置を要請する署名を提出したを受け、同署を町内に配置したが、効果は上がらず、犬の鳴き声や悪臭に耐えかねて引越した隣人もいるという。近所の住民は「最近ばかりに注意しても、犬に阻まれて家に入れない。これまでかみ付かれて

けがをした人がいないのは、不思議なくらいだ」と顔を曇らせていた。

家宅捜索では約四十匹の犬のうち、子犬が縁の下に逃げ込むなどして十八匹の押収にとどまったという。

名古屋衛生局環境食品部環境食品課獣医係の話によると、保健所が犬で警察に告発するケースは数年に一回はあるが、一匹のかみ付き事故に伴う場合が多い。これだけ多数の犬に及

北村氏(右)の偽物を制作したとして詐欺反の疑いで同署、飼犬製造と市瑞穂署業、浦米(左)逮捕した。

調べによる著作権を北村氏作の「の複製を偽り四月、愛業者に三千円万円で押し、取った疑い。」は関東、関西、出回、美術体三十万円で偽作した。

偽作は「いわゆる一面に金付が表面からは本物にみえ、けがつかない

本曾川流域 土蔵破り 共犯2人を逮捕

愛知、岐阜両県の本曾川流域で旧家の土蔵に穴を開け、古美術品、骨とう品などを次々と盗む土蔵破り事件を調べていた愛知県警捜査二課と二宮、津島両署合同捜査本部は十七日まで、八月に逮捕した四人の窃盗団の共犯として岐阜県羽島市竹鼻町飯柄、山本誠(あ)、愛知県尾西市開明出屋敷、伊藤建次(あ)の二容疑者を盗みの疑いで逮捕した。

調べでは、山本容疑者は七月下旬、すでに逮捕、起訴されている同県一宮市、造園業高橋勉(あ)被告ら三人と共謀し、岐阜県海津郡海津町の農家の土蔵に侵入、陶器類や掛け軸など美術工芸品計約千五百点(六千円相当)を盗んだ疑い。

伊藤容疑者は一月下旬同じく三被告と一緒に同町内の美術工芸品店の倉庫か

らびよう(あ)、大型の美術品を点(百二十万)んだ疑い。

一連の土蔵破り事件は五月から約同本部は八月下旬、実行犯三人と、なから古美術品た電化製品販売人を逮捕。余罪なかで、山本、者の存在が浮か